

第142回簿記検定試験

3級 出題の意図

[第1問]

(出題の意図)

本問は、3級の学習範囲内における基本的な取引についての仕訳問題です。解答にあたっては、問題文を丁寧に読み、指定した勘定科目を使用することが必要になります。

1. 直接法で記帳している備品を期中に売却したときの問題です。次のことを理解している必要があります。
 - ① 直接法で記帳しているため、備品勘定の残高は取得原価から前期末までの減価償却累計額を減算したものである。
 - ② 期中売却のため、当期に使用した期間について減価償却費を計上する必要がある。
 - ③ 固定資産売却損益は、売却価額と帳簿価額（備品勘定の残高－減価償却費）の差額である。
2. 給料の支払いに関する問題です。次のことを理解している必要があります。
 - ① 給料総額を給料勘定の借方に記帳する。
 - ② 給料総額から差し引いた、社会保険料および所得税の源泉徴収分は、それぞれ、社会保険料預り金勘定（負債）および所得税預り金勘定（負債）で処理する。
3. 借用証書による貸付金が満期になり返済を受けたときの問題です。次のことを理解している必要があります。
 - ① 借用証書による貸付けは、貸付金勘定（資産）で処理する。
 - ② 正確な利息の計算。この問題では資料から貸付日数を正確に知ることができないので、利息は月割で計算する。
4. 所有する株式を売却したときの問題です。次のことを理解している必要があります。
 - ① 売買手数料を差し引いた手取額と取得原価の差額が有価証券売却損益になる。
 - ② 手取額が後日に振り込まれる場合は、未収金勘定（資産）で処理する。
5. 現金過不足に関する問題です。次のことを理解している必要があります。
 - ① 簿記で、現金として扱われるものを正しく理解していること。

ここでは、紙幣、硬貨、得意先振出しの小切手が簿記上現金として扱われるもの、つまり現金の実際有高である。

- ② 現金の実際有高(¥115,800)が帳簿残高(¥116,000)より少ないときは、帳簿残高を実際有高に合わせるために、現金勘定の貸方に不足額を記入するとともに、現金過不足勘定の借方に不足額を記入する。

【第2問】

(出題の意図)

本問は仕入帳および売上帳をもとに、商品有高帳(移動平均法)を作成する問題です。

商品有高帳の作成にあたっては、次のことを理解しているかを問うています。

・商品有高帳には商品の在庫管理という目的があるため、以下の点に留意して記帳する。

① 商品の種類ごとに記帳する。この問題はA商品の記帳を求めているのでB商品は記帳しない。

② 受入欄、払出欄、残高欄すべて原価で記帳する。したがって、売上帳の@¥は売価であり商品有高帳に記入することはない。

③ 売上値引きは売価の修正であるから、商品有高帳に記入することはない。

④ 仕入戻しは、問題文の指示にしたがって「払出欄に記入」しているか。

・移動平均法は単価の異なる商品を受け入れるたびに、平均単価を残高欄に記入する方法である。

【第3問】

(出題の意図)

本問は、前年度末の貸借対照表と本年度1月中の取引にもとづいて、1月末の合計試算表を作成する問題です。

この問題では次のことを理解しているかを問うています。

① 1月末の合計試算表を正しく作成できるか。具体的には、貸借対照表の金額を1月中の取引金額に加減できているかどうか。1月中の取引金額だけで1月末の合計試算表を作成していないか。

② 前払費用の再振替仕訳が正確にできるか。

③ 常に当座借越を意識して仕訳処理ができるか。

仕訳そのものは基本的な内容であり、また、取引量も多くなならないよう配慮してあります。合計試算表の意義を正しく理解するとともに、正確かつ迅速な解答を心がけてほしいものです。

【第4問】

(出題の意図)

基本的な伝票に関する処理を問う問題です。(1)は既に振替伝票に記入されている金額から、いったん全額を掛取引として起票する方法と、取引を入金伝票・振替伝票に分解して起票する方法のいずれを採用しているのかを判断する必要があります。また、(2)は仕訳の内容から起票方法を判断する必要があります。

【第5問】

(出題の意図)

貸借対照表および損益計算書の作成を問う問題です。141回から連続の出題となりますが、精算表は財務諸表を作成する流れを一覧にしたものですので、3級受験者は精算表作成のみならず、その結果である財務諸表作成についてもしっかり身に付けておくことが望まれます。

そして、実際の中小企業には赤字企業が多く存在することから、本問では最終損益が当期純損失となるように出題しました。ただ、この点を除けば3級では典型的な論点を出題しましたので、落ち着いて解けば十分に高得点がとれるものと思われます。